



お問い合わせ先

東京外国語大学 総務企画課 基金担当  
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

TEL: 042-330-5126

FAX: 042-330-5140

Email: [tufs-fund@tufs.ac.jp](mailto:tufs-fund@tufs.ac.jp)

<https://tufs-fund.jp>



2023年10月発行

東京外国語大学  
Foundation of Tokyo University of Foreign Studies  
2023  
基金

活動報告

Activity Report

活動報告  
Activity Report

2022

ご挨拶 林学長／成瀬理事	03
2022年度 収支報告 収入／支出	04
2022年度 活動報告	06
TOPICS 植栽基金／人工芝基金	10
ご寄附いただいた方からの声	
東京外語会理事長 寺田朗子様／須崎彰子様	12
建学150周年記念事業	13
2023年度 支援事業計画	14
ご寄附いただいた方々	15



ご挨拶



東京外国語大学長  
林 佳世子……はやし かよこ

2022年度の東京外国語大学基金の活動報告がまとまりました。2022年度にも、多くの皆さんからご寄附をいただき、本当にありがとうございました。

さて、昨年2022年度の東京外国語大学は、コロナ禍からの回復が進み、多くの学生が海外留学に旅立っていった年となりました。1学年の学生数が約750名に対し、留学者の数は、長期470名、短期721名。コロナ以前の水準に近づいています。円安・物価高騰などの逆風が吹いていますが、留学先で有意義な時間を過ごしてほしいと願っています。また海外84カ国から667名の交換留学生を迎えました。様々な言語が飛び交う本学らしい光景が戻ってきたことに安堵しています。いただいた寄附の一部は、こうした留学生・留学生のために使われました。

そして、今年2023年。建学150周年を迎えます。2014年から始まった「建学150周年基金」の活動も、最終年度を迎えました。いただいたご寄附をもとにグラウンドの人工芝化や記念出版を行い、また今後の国際交流や研究支援の体制を整えます。大学基金の活動はこの大きな節目を経て、次の150年に向けて新しい出発をいたします。引き続き、ご理解とご支援をいただければ幸いです。



東京外国語大学理事  
(社会連携、基金、広報等担当)  
成瀬 智……なるせ ちとる

2022年度は、建学150周年基金創設後、過去最高額となる90,290千円のご寄附をいただきました。心より御礼申し上げます。

この4月に、前任の犬飼啓吾理事よりこのような引継ぎを受け、担当理事として建学150周年基金の最終年度の募金活動を進めるにあたって身の引き締まる思いです。今後は、本学基金委員会において了承していただいた活動方針に基づき、本年12月の募金活動終了までに少なくとも5億円を達成できるよう、引き続き皆様のご厚意を募り、基金事業の財源を少しでも積み上げる努力をして参ります。

なお、本基金終了後は、新たに周年による基金の創設は行わず、常設の「東京外国語大学基金」として募金活動を継続することとし、本基金はこの大学基金に統合する方向で検討しています。

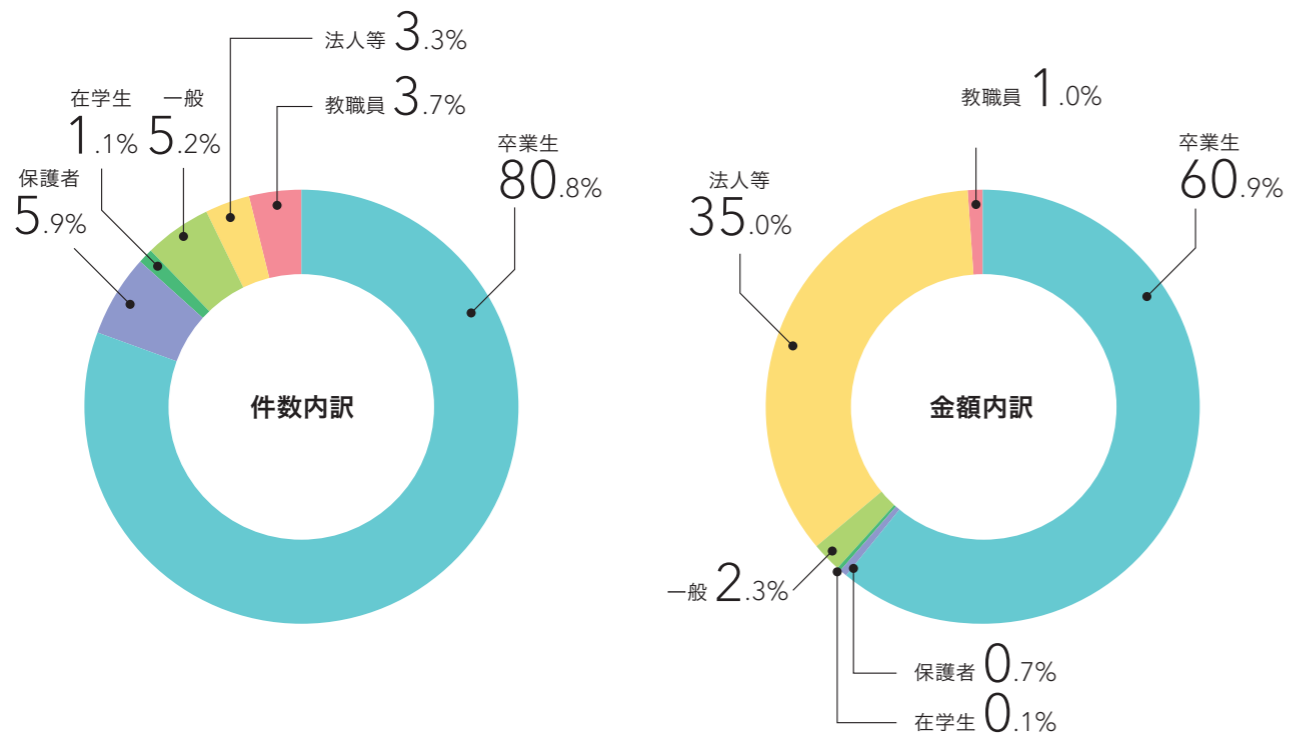
引き続き、本基金、そして東京外国語大学基金へのご支援をよろしくお願いいたします。

なお、この活動報告書が新しい循環や繋がりを生み出すきっかけとなることを願っています。

## 2022年度 収支決算

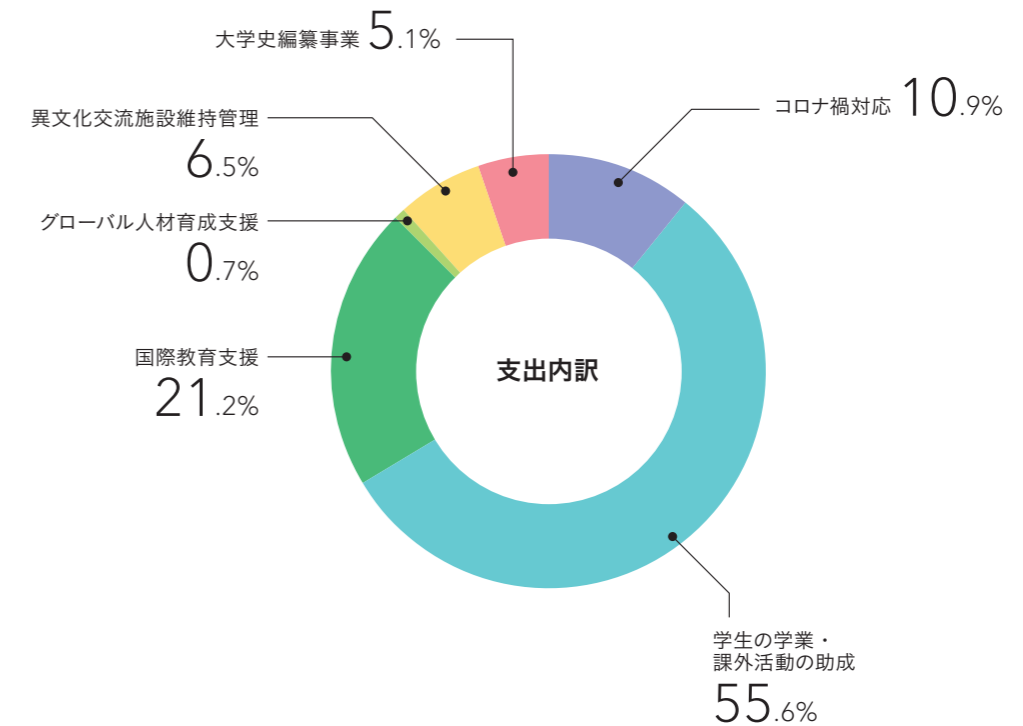
2022年度 期首残高	収入額	運用利息	支出額	2023年度 繰越	(円)
537,237,899	90,290,678	90,230	34,435,777	593,183,030	

## 収入



区分	件数	金額 (円)
卒業生	438	55,032,001
保護者	32	633,000
在學生	6	85,494
一般	28	2,043,000
法人等	18	31,631,183
教職員	20	866,000
<b>合計</b>	<b>542</b>	<b>90,290,678</b>

## 支出



区分	主な用途	金額 (円)
① コロナ禍対応	100円朝食、100円弁当、食堂利用券	3,743,200
② 学生の学業・課外活動の助成	学生の学業・生活支援、課外活動・進路指導支援 等	19,159,570
③ 国際教育支援	「21世紀の地球社会と対話し行動する東京外国語大学」(“TUFS-InterACTing with the Global Society”)の基本精神にのっとり、言語や文化的な背景の違いをこえ本キャンパスに学ぶ優れた学生(日本人学生・留学生)に対する奨学金の支給、海外派遣などの幅広い支援事業	7,292,644
④ グローバル人材育成支援	外国語運用能力の育成を中心とした教育支援体制をよりいっそう強化するための事業	234,326
⑤ 異文化交流施設維持管理	外語祭の語劇、イベント等で使用するアゴラ・グローバル プロメテウス・ホールの維持・保全	2,229,579
⑥ 大学史編纂事業	大学史編纂・刊行	1,776,458
<b>合計</b>		<b>34,435,777</b>

2022年度における基金の具体的な使途（活動）について、次のとおり報告いたします。

## 1 コロナ禍対応

- コロナ禍における100円朝食、100円弁当、食堂利用券に関する経費に充てました。



提供された100円朝食



食堂の入口表示

## 2 学生の学業・課外活動の助成

- 世界諸地域の言語教育の推進を担う、ワールド・ランゲージ・センター（通称をLingua）の体制を強化しました。
- 本学を卒業した一流企業の経営者や著名な起業家によるリレー講義「キャリアデザイン論」の講師謝金に使わせていただきました。
- ルワンダ、ザンビアからの留学生の生活補助支援等に充てました。
- ベトナム語専攻の学生に対する語学研修費支援や講演謝金に使用しました。
- ペルシア語学科（現ペルシア語専攻）で教鞭を執られた本学名誉教授から寄附された、ペルシア語を中心とした貴重な図書 of 整理・管理費用として使用しました。
- キャリア相談（キャリアカウンセリング）や、新たに設置した「こころのサポートシステム」、外語祭や課外活動支援に係る経費に使用しました。



2022年11月10日の留学生交流会。7名の留学生がすべて参加しました。7名の留学生に対して、本学基金（もともとはクラウドファンディングおよび矢崎総業からの寄附金）から生活費を支援しました。詳しくは、現代アフリカ地域研究センターのHPから <http://www.tufts.ac.jp/asc/events/others/221110NetworkingMeeting2022.html>



キャリア相談の様子



2022年3月～2023年2月に滞在したエマニュエル・ウェッペンゴング・ジャットさんとポール・カニ・パホヤさん。いずれもルワンダのプロテスタント人文社会科学大学（PIASS）からの交換留学生。



2022年度ベトナム語総会時の集合写真

## 3 国際教育支援

- 国際機関へのインターンシップ、国連スタディツアー等学生の派遣支援、留学生の受け入れ等に関する経費に充てました。
- 学校推薦海外インターンシップの派遣学生3名への奨学金助成に使用しました。
- 大学院（博士前期/後期課程）において、研究に必要なフィールドリサーチを奨励する目的で、5名の大学院生に奨学金を支給しました。
- ポルトガル語劇のブラジル人コミュニティ出張公演（場所：群馬県大泉町文化むら大ホール）に係る経費に充てました。
- アジア経済研究所によるアイデアス（IDEAS）研修プログラムへの本学大学院生の派遣に関して、研修費の一部を基金から支出しました。



国連スタディツアーの様子

## 4 グローバル人材育成支援

- 外国語（英語）能力の育成のため、TOEIC-IP実施に係る業務補助経費に充てました。

## 5 異文化交流施設維持管理

- 外語祭の語劇、イベント等で使用するアゴラ・グローバルプロメテウス・ホールの維持及び保全業務を実施するための経費に充てました。



アゴラ・グローバルプロメテウス・ホール



外語祭の「語劇」

## 6 大学史編纂事業

- 建学150周年（2023年）に向けて、大学史編纂に係る作業経費に使用しました。

### 【目次】

- 第一章 前史 開国と外国語・外国事情の教育・研究のはじまり
- 第二章 明治の近代教育体制の構築と外国語学校の設置
- 第三章 日清戦争と「外国語ニ熟達スルノ士」の養成
- 第四章 日露戦争、第一次世界大戦と「貿易」「殖民」「外国語」の教育
- 第五章 戦時下の外国語教育と学徒出陣
- 第六章 戦後の外国語教育と「国際人」の養成
- 第七章 高度経済成長と「地域研究」
- 第八章 国際社会を覆う東京外国語大学の教育改革

東京外国語大学  
150年のあゆみ  
東京外国語大学文書館 編  
東京外国語大学出版会 刊  
2023年11月4日発行  
四六判・並製  
総ページ数400頁  
定価2,200円+税

2022年度に基金による支援をいただいた活動について、次のとおりお伝えいたします。

report

3  
国際教育支援

言語文化学部、国際社会学部 2年次学生 (専攻言語：ポルトガル語)

## ポルトガル語劇、 ブラジル人コミュニティへ出張公演

[群馬県大泉町文化むら大ホール]

本学基金からの支援を受け、2022年12月11日(日)、本学言語文化学部及び国際社会学部のポルトガル語を専攻言語として学ぶ2年次の学生が、群馬県大泉町文化むら大ホールにおいて、大泉町役場のご協力により、本年度の外語祭で上演したポルトガル語の喜劇「医者診断を受けるな (Não consultes médico)」(マシャード・ジ・アシス作)の公演を実施しました。

大泉町はブラジル人が多く居住している地域であり、多くのブラジル人の親子が来場し、200名近い参加がありました。観客のほとんどがポルトガル語ネイティブのブラジル人であり、ポルトガル語のせりふに瞬時に反応して声をあげて笑う子どもたちのリアクションに応え、学生たちの演技に熱がこもった公演となりました。



公演の様子



公演の様子



公演のフライヤー



公演後の集合写真

interview

3  
国際教育支援

Abibullaeva Dinaraさん (大学院博士前期課程)

## カザフスタンでのフィールドリサーチ

With the support of TUFS Fund, I was able to conduct a field research in Kazakhstan. During February and March 2023, I visited Kazakhstan, to conduct field research for my thesis project. My thesis project is about the ethnic Kazakh returnees' adaptation and sense of belonging and self-identity after they returned back to the historical homeland. The goal of the field research was to conduct in-depth interviews with ethnic returnees. I also visited public libraries to collect information about formation of Kazakh diaspora in Kazakh and Russian languages which are not available in the online libraries. The interviews helped me to construct main argument for research question and showed the connection between the motivations that led ethnic returnees to migrate back and the direction of development of their identity. Field research contributed greatly to the process of thesis writing and made my argument convincing and academically significant.



Abibullaeva Dinaraさんとカザフスタンの伝統料理

日本語訳

本学の基金による支援を得て、私は2023年2～3月にかけてカザフスタンで現地調査を実施しました。私の修士研究はカザフ民族の帰国者が祖先の故郷に戻った後の適応と帰属意識、アイデンティティに関するものです。現地調査の目的は、民族的な帰国者に詳細なインタビューを行うこと、さらに公共図書館でカザフ語やロシア語によるカザフ・ディアスポラの形成に関する情報を収集することにあります。インタビューを通じて帰国者を再移住に導いた動機と、彼らのアイデンティティの確立との関連性が明らかになり、研究課題に対する主要な論点を構築することができました。本現地調査により、私の主張は説得力のある、学術的に意義のあるものとなりました。

2022年度の取り組みを、  
ご紹介します。

# TOPICS

選手たちからのお願い



## キャンパス植栽プロジェクトに伴う 植栽基金の設置

2000年に本学が府中市に移転してからこれまでの間、多くの学生や教職員が緑豊かなキャンパスの中で過ごしてきました。また、地域住民のみなさんにとっても、緑あふれる開かれたキャンパスは、交流や憩いの場所として利用されています。

しかし、移転から22年経ち、近年の異常気象がもたらす台風等による倒木、内部が腐朽した危険な樹木など、早急に対応が必要な樹木が一部存在して



台風の影響で倒木した様子

います。これらの樹木については、新たな樹木に植え替えることを前提とし、引き続き、緑豊かなキャンパスの維持管理に努めていかなければならないと考えています。

2022年度に、樹木の植え替え等に資することを目的とした『植栽基金』を設置いたしました。緑あふれるキャンパスを維持するために、皆様のご理解と温かいご支援をいただければと願っております。

どうぞよろしくお願いいたします。



本学のモニュメントと木々



本部管理棟前に植えられた牡丹



「植栽基金」

<https://tufts-fund.jp/about-funds/funds-tokutei/planting-fund/>

## 人工芝化プロジェクトに伴う 人工芝基金の設置

本学が府中キャンパスに移転後、20年余りが経過し、体育授業、課外活動等に使用している屋外運動場について衛生面・安全面において活動の支障等が懸念されておりました。

学生等の体育授業、課外活動における良好な運動環境を提供し、土煙の抑制や怪我の予防、雨天後の使用効率の向上のため、建学150周年記念事業の一環として、2022年より人工芝を敷設することを目的に人工芝基金を設置しております。2023年度中の完成を目指し、また、維持・管理費の捻出に備え、募金活動を進めております。

種目によっては、人工芝でないと公式戦が実施できないものもあり、学生にとっては、本番を想定した練習環境の実現は、課外活動を充実させるうえで、切実なものとなっております。

皆様のご理解と温かいご支援をいただければと願っております。

どうぞよろしくお願いいたします。



硬い土のグラウンドで練習する選手たち。常に怪我の心配をしながらプレー。雨の日は水溜まりだらけになり練習できないことも。



### アメリカンフットボール部



私たちは関東学生アメリカンフットボール2部リーグ定着を目指しています。そのため日々の練習から試合さながらの激しい対人プレーが求められますが、硬

い土グラウンドでのタックルなどは大きなけがのリスクが伴います。さらには、土煙によって部員の健康を害するおそれがある点、練習着やスパイクが汚れてしまう点、降雨によってグラウンドが使えなくなってしまう点など、現在の土グラウンドには様々な難点があります。

また、より精度の高いプレーをするには、試合と同環境である人工芝での練習が必要となってきます。毎日安心、安全に練習に取り組み、パフォーマンスを向上させるために、本プロジェクトへのご協力をよろしくお願いいたします。

### 女子ラクロス部



私たちラクロス部は現在4部リーグに所属しており、3部リーグ昇格に向けて日々練習しております。週4回の練習日を設けていますが、雨

によるグラウンド状況の悪化などによって雨天時はグラウンドで練習することができない日も多々ございます。

さらに、土グラウンドと芝グラウンドではボールの跳ね具合等の違いがありプレーにもグラウンド環境が大きく影響してきます。ラクロスでは公式戦を人工芝グラウンドで行うことが多いため、日頃から人工芝グラウンドで練習を行うことによるパフォーマンスや技術の向上が、直接試合の勝利につながってくると考えております。



「人工芝基金」

<https://tufts-fund.jp/about-funds/funds-tokutei/artificial-grass-fund/>



「人工芝化プロジェクト」

<http://tufts-fund.jp/artificial-grass-project/>

Message



東京外国語会理事長  
寺田 朗子 様  
1975年  
本学 フランス語学科 卒業

「東京外国語会」はその構成を、卒業生と在學生とがともに関わっています。ですから私たち「外語会」にとって、大学とのつながりはとても大切なものになります。今のそして次の世代の「宝」である学生とのかかわりをとても大切に考えています。そのために学生がより良い学生生活を送れるようなサポートをしたいと願っています。

コロナ禍で厳しい生活をせざるを得なかった学生たちへの100円朝食などなどの援助はとても喜んでいただきました。未だ当分は続けて支援できるようです。「健全なる魂は健全なる身体に宿る」となるよう、食生活の一部を支えることは大切な支援と思います。

数字に現れるサポートだけがすべてではないですね。「東京外国語会」というところは〈いろいろと相談できて、一緒に考えてくれて、たくさんの国の生きた情報をくれるところ〉として学生の皆さんにとって貴重な場と自負しています。

私たちが今欲しいものは、皆さんの「生の声」です。どんなことが、どんな手がほしいのか、どうぞ教えてください。すべてそこから始まるかもしれません。

Message



立教大学兼任講師、  
元国連職員  
須崎 彰子 様  
1982年  
本学 アラビア語学科 卒業

振り返ると世界と繋がりたい思いから東京外国語大学に学び、私の勤務人生は民間企業に始まり国際機関で20余年、開発を振り出しに中東、アジア、南太平洋、2つの国連機関本部を経て中東紛争地での人道支援で締めくく、学生時代の想像以上の広がりとなりました。在学時に私と世界との結びつきを確たるものとしたのは、専門分野を通して現地の多様な価値観を深く語ってくださった先生方、そして生涯の友となる同級生たちとの出会いでした。さらに様々な任地で、現地の価値観を多面的に分析して最もわかりやすく話してくれたのは、その国の人々のために様々な分野で貢献する母校の卒業生の方々でした。東京外国語大学で学ぶことができたことは、それゆえ私にとってかけがえのないことです。

感謝の気持ちから母校の若い世代を応援したく、建学150周年記念基金への寄附を続けています。一人でも多くの外大生そして研究者の方々の夢がかなうことを願っています。

建学150周年記念事業

本学は、1873年に神田区（当時）に、東京外国語学校として発足して以来、2023年は、建学150周年にあたります。建学150周年を記念し、次の事業を行います。

「東京外国語大学150年のあゆみ」の刊行

東京外国語大学は、1857（安政4）年に幕府により開校された蕃書調所を淵源とし、1873（明治6）年の官立東京外国語学校の建学以来、150年にわたり言語教育を礎としながら、世界の諸地域の政治・経済・文化に精通した人材の育成を担ってきました。

外国語と外国事情の教育・研究を基礎とする本学の歴史は、日本を取り巻く国際情勢の変遷と深く結びついてきました。戦前には日露戦争に際して軍事通訳の養成に協力し、アジア進出を目指す商人・企業家に商用外国語を教授する速成科を設置し、戦後には日本の経済発展・国際社会との関係性の変化にあわせ、学科増設を進めてきました。

本書では、そうした日本の近現代史ともつながる本学の150年のあゆみを、諸資料とともに紹介しています。



東京外国語大学  
150年のあゆみ  
東京外国語大学文書館 編  
東京外国語大学出版会 刊  
2023年11月4日発行  
四六判・並製  
総ページ数400頁  
定価2,200円＋税

建学150周年記念式典の挙

2023年10月28日（土）に、府中キャンパス アゴラ・グローバルプロメテウス・ホールにおいて、建学150周年記念式典を挙行いたします。  
※該当の期間中に一定額以上のご寄附をいただいた皆様に招待状をお送りしております。



大学歌合唱

2023年度に予定されている基金による支援事業計画を、次のとおり報告いたします。

区分	主な使途	金額 (円)
① 学生の学業・課外活動の助成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学生相談室の充実</li> <li>■ 就職指導体制の充実</li> <li>■ 英語多聴・多読プログラム、オンライン学習プログラム等の多様な学習の機会を提供、多読資料となる図書などの購入</li> <li>■ 課外活動の安全対策支援</li> <li>■ キャリア教育支援</li> <li>■ 語学研修（ショートビジット）参加学生への奨学金、留学生への奨学金や生活支援助成金</li> <li>■ 外語祭（大学祭）への助成、語劇支援</li> <li>■ 企画展や外国語書道教室に係る費用</li> </ul>	17,132,268
② 国際教育支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「21世紀の地球社会と対話し行動する東京外国語大学」(“TUFU-InterACTing with the Global Society”) の基本精神にのっとり、言語や文化的な背景の違いをこえ本キャンパスに学ぶ優れた学生（日本人学生・留学生）に対する奨学金の支給、海外派遣などの幅広い支援事業</li> </ul>	13,362,976
③ グローバル人材育成支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外国語運用能力の育成を中心とした教育支援体制をよりいっそう強化するための事業</li> </ul>	1,413,745
④ 研究等支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 博士課程在籍者に対する学外異分野研究交流事業・キャリア開拓イベント参加補助事業</li> </ul>	850,410
⑤ 異文化交流施設維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外語祭の語劇、イベント等で使用するアゴラ・グローバル プロメテウス・ホールの維持のため、保全業務を実施するための経費</li> </ul>	2,720,900
⑥ 人工芝敷設費	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 屋外運動場に、人工芝を敷設するための経費</li> </ul>	121,347,000
<b>合計</b>		<b>156,827,299</b>

※上記は当初の計画であり、変更される可能性がございます。また、基金の趣旨・目的を踏まえて、追加で支援事業を行う場合があります。

## ご寄附いただいた方々

※お名前のご公表をご了解いただいた方のみ掲載しております（敬称略）。

### 個人

會津 勝久	大澤 理一郎	久保田 真衣	白木 英美	富田 一弥	藤富 保男	山岸 誠一郎
青山 亨	大嶋 昌宏	倉上 真理	神保 文男	直井 小百合	藤中 詩織	山口 勉
秋葉 亜子	大島 勇次郎	倉田 紗容子	新保 由紀子	中井 博康	藤野 泰弘	山口 登之
浅田 和俊	大隅 国雄	クラタ ナオタカ	菅井 啓祐	中江 恵子	藤原 功樹	山崎 正喜
荒木 和男	大塚 公也	黒崎 純一	須賀田 三志朗	中尾 浩司	船寄 裕充・幸恵	山崎 幸雄
池田 修昭	大野 純平	黒澤 直俊	杉浦 裕子	中川 学	古川 早紀子	山田 奈保
池田 晋	大原 宏	黒田 道暉	杉山 廣志	中川 華	古木 真梨乃	山田 光茂
伊崎 捷治	岡 直樹	小池 章太	須崎 彰子	中久木 三恵	古本 晃	山田 裕之
石田 賢一	岡崎 裕	小石 武	鈴木 奈保子	中田 陽佑	堀 岳生	山田 由佳里
石津 拓真	小笠原 啓	小泉 菜緒	鈴木 みゆき	中塚 慕	堀川 耕司	山田 凌雅
石原 寿郎	岡村 信男	小塩 博史	鈴木 祐哉	中野 隆友	堀本 克己	山西 鉄
五十幡 圭右	岡本 龍哉	小島 駿介	砂川 あゆみ	中村 魁人	本間 美帆	山根 裕史
市橋 忠能	小川 賢一	小菅 将太	須見 美彦	中村 洋子	牧 賢治	山本 和代
伊藤 悦子	小川 幸太郎	小寺 裕子	駿河 秀樹	中元 毅	榎原 健夫	山本 惇士
伊藤 勝郎	押野 洋	小林 公典	関根 文夫	奈良部 毅	益子 幸江	横井 尚之
伊藤 千紘	尾花 健一郎	小林 佐智子	瀬戸 惇	榎山 文奈	松岡 大成	横川 正博
伊藤 隆	折居 克春	小林 早苗	左右田 直規	新美 陽子	松田 薫	横田 高力
伊藤 力	風見 健史	小森 崇史	大工原 紀久雄	西田 紀男	松永 収二	横山 賢司
伊藤 友久	加地 照子	財前 由美子	高岡 靖	西田 良子	松本 健二	吉谷 克美
稲生 秀俊	加島 淳一郎	齋藤 素子	高坂 香	西村 昇	松本 憲祐	吉田 健太郎
井ノ口 尚生	片山 剛	齋藤 秀則	丸山 恭子	西谷 俊広	丸山 芳仁	吉田 尚子
今枝 律	加藤 青延	佐伯 耕治	高羽 輝	新田 和夫	馬渡 雅敏	吉田 博昭
今野 吉信	加藤 俊哉	酒井 賢明	高橋 勝己	丹羽 泉	三ヶ尻 典子	吉田 豊
岩城 宏斗司	加藤 好朗	坂田 恒春	高橋 慎也	能沢 正夫	水野 榮次	吉村 覚
岩下 元	金川 宏美	作田 彩音	高橋 直樹	能登 崇	水野 真緒	米田 利民
岩田 信夫	金武 恵士朗	サクムラ ナオト	高橋 紀雄	野中 知恵子	三井 修	李 弘輝
岩村 秀彦	加納 永清	作村 直人	高橋 美樹	萩原 慎平	南 潤一郎	渡辺 周
上原 尚剛	加納 春果	佐々木 洋	高橋 良	橋本 文男	峰岸 真琴	渡邊 翔吾
鶴澤 菜摘子	榊山 聡	佐々木 宏夫	高見 徹	橋本 正明	宮川 直希	渡邊 大輔
内堀 學	神坂 洋平	佐藤 健	高村 友梨	蓮田 涼	宮木 和義	渡辺 良夫
内山 剛	唐澤 健華	佐藤 健二郎	高安 健臣	長谷川 洋一郎	宮地 郷穂	割石 靖宜
埋金 洋介	川上 直久	佐藤 秀夫	高山 直大	畠山 理恵	宮野内 雄樹	
梅澤 忠男	河田 常弘	澤 正史	瀧嶋 拓也	波多野 明美	武藤 真央	
榎田 満蔵	川田 剛	沢崎 一郎	滝山 佳樹	林 瑛美	村木 岳人	
浦田 和幸	川西 高久	澤田 まりん	田口 佳奈子	速水 勝彦	村杉 純男	
江川 由香	川元 治	三瓶 佑太郎	田口 健	東 賢一郎	村末 貴子	
榎本 悠	菊池 理佳	柴田 恭一郎	田島 龍太郎	菱沼 伸善	村山 則子	
遠藤 総史	北澤 薫	島田 志津夫	館 次郎	日比野 多愛	森 成輝	
遠藤 政典	木下 隆治	清水 麻子	田中 健	兵頭 英夫	森 正樹	
遠藤 道宏	木村 嵩	清水 賢	田中 素浩	廣岡 一陽	森 正孝	
遠藤 雄貴	木本 卓麻	清水 大介	田中 大輔	廣田 幸男	盛合 里江	
近江 猛	清田 辰雄	清水 大輔	田中 博	深澤 篤	森元 英昭	
大喜多 慶一	楠 卓・美紅	下岡 靖宜	田中 由佳	福井 雄一郎	森山 祐樹	
大國 統嗣	國井 利扶	正源司 克也	谷口 茂	福田 暉男	安井 真紀子	
大澤 愛介	久野 純	白石 昭夫	田村 佑輔	福地 光紀	矢田 理世	
大澤 重之	久野 徹	白石 麻子	辻本 幸一	福原 新	彌永 宏太	
大沢 祥平	久野 華代	白石 正	土山 剛	藤 要	谷中 恒治	
大沢 久人	久保木 里絵	白石 翼	土井 みどり	藤井 陽斗	柳田 茂紀	
大澤 陽一郎	久保木 一政	白上 萌夏	遠山 康平	藤田 久美	山内 康宏	

### 会社、法人、団体

イースタン・カーライナー株式会社  
一般社団法人 東京外語会  
株式会社カワベ  
株式会社IH  
株式会社二葉  
株式会社マキタ

商船三井ロジスティクス株式会社  
セイコーグループ株式会社  
大和リース株式会社  
寺田ホールディングス株式会社  
東京外国語大学学生後援会  
東京外国語大学女子ラクロス部OG会

東京外国語大学生協同組合  
東京外国語大学ベトナム語OBOG会  
2022年度スペイン語サマースクール  
日越言語学者会議  
メコン会 副会長 西浦二郎  
有限会社とりむ